

木曾岬干拓地整備事業(第2期)環境影響評価方法書に対する
木曾岬町長意見

木曾岬干拓地はすでに北部エリアにおいて木曾岬新輪工業団地として企業活動が始まっており、今後もさらに開発が進むなど活発な経済活動が展開される見通しとなっている。また、南側の土地利用についても引き続き都市的土地利用への期待が寄せられている。これは同地における都市的土地利用に対する高いポテンシャルを裏付けるものである。

従い、今後の手続きにあたっては、将来の土地利用計画が遅延することのないよう、当該方法書に基づき早急に環境影響評価を進められたい。